

事業番号	11 04 02	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	道路改築費			担当課	部局	建設部	
					課・局・室	道路建設課	
					E-mail	michiken@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト			実施期間	T8 ~		
	施策の総合的展開	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 2 暮らしを支える道路網の整備					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5-3 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり					
	施策展開	4-(1) 確かな暮らしを支える地域構造の構築 (ア) 地域に必要なサービス・交流機能の確保					

## 1 事業の概要

目指す姿	県民の安全・安心の暮らしと産業・経済活動を支える幹線道路網や身近な生活道路の整備を進め、活力ある地域社会を創る。 成果目標：国・県道の道路改良率 65.6% (H22)→67.5% (H29)		
現状 (予算編成時)	○県内の道路延長は全国第5位であるのに対して道路改良率は35位 65.6% (H23.4.1現在)であり、地域の暮らしを支える道路の整備が遅れている。(H26年度末現在：改良率66.2%) ○幹線道路及び生活道路の整備に対する県民ニーズは非常に高い。		

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 道路法により、指定区間以外の国道及び県道の整備は県が実施するものとされている。 (道路法12条、13条、15条、42条)
	県民との協働による実施：実施は困難	

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)				
	○国・県道の改良率を67.2% (H29.3月末)とする。 (H29目標 (67.5%))を計画的に達成するための指標)				
	② 事業内容 (単位：千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)
道路改築事業 (国道・県道)	直接	・事業実施箇所数86箇所 ・完了箇所数 6箇所	16,561,840	18,339,281	17,131,000
		合計	16,561,840	18,339,281	17,131,000

事業コスト	区分 (単位：千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越	6,326,874	5,894,556	6,781,723	項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	15,150,000	16,561,840	17,131,000				目標	成果		達成状況
	補正予算	2,792,786	2,664,608		国・県道の改良率	66.2%	66.4%	67.2%	66.7% (見込み)	未達成	67.5%
	合計 (A)	24,269,660	25,121,004	23,912,723							
	一般財源	1,585,605	531,015	884,303							
	県債	9,588,000	11,910,000	11,176,000							
	国庫支出金	12,957,486	12,658,283	11,852,420							
	その他	138,569	21,706	0							
	決算額 (B)	18,375,104	18,339,281								
概算職員数 (人)	170.08	170.08	170.08								
概算人件費 (C)	-	-	-								
概算事業費 (B+A+C)	18,375,104	18,339,281	23,912,723								

目標に対する成果の状況	平成28年度の道路改良率は、未改良箇所がトンネルや橋梁の整備を要する山間部に多いほか、2次改築の箇所もあるため、整備効果が改良延長に反映しにくい状況にあり、目標を達成できなかった。なお、改良率が確定するのは平成30年4月のため、事業費から推定した見込み値を記載している。
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン」の主要施策「快適で暮らしやすいまちづくり」における主要な取組のひとつとして、幹線道路及び生活道路の整備に対する県民のニーズは高いことから、引き続き整備を進める。